

## 岡山県医療対策協議会 第2回地域医療対策部会の概要

- 日 時：平成21年2月19日（木）15:00～16:00 ○場所：岡山済生会総合病院会議室  
○出席者等：別紙のとおり（へき地支援会議との合同会議）

### 【岡山大学医学部における地域枠コース】

- ・自治医科大学においても、修学資金を返すケースがあるという。自治医科大学の場合は返還額が約3,000万円であるが、地域枠コースでは返還額がそれより少ないと聞く。せっかく確保した学生がこの仕組みから脱退しないように、教育していくべきである。
- ・他県では宿泊研修等を行っているという。様々な方法により、定着してもらえそうな対策を行うことが必要である。
- ・将来の配置先について、早期に検討を行っていく必要がある。

### 【非常勤医師の実態について】

- ・非常勤医師を常勤換算して病院の医療従事者を算出する資料があるが、実際に問い合わせると違っているケースもあるようである。本当の実態が分かるような調査も検討してみるべきではないか

### 【県北の医療状況について】

- ・津山市では、現在、1つの病院に常勤の内科医がいなくなり、その影響により別の病院に患者が集中している状況にある。そのため、救急患者の受入に大変苦慮している状況にある。県南部では数多くの大病院があるため、それほど影響はないと想定するが、県北では大病院が少ないので、たちまち影響が出てくる。
- ・県南でも大病院への患者の集中が激しくなっており、救急部門は大変な状況になっている。また、現在の1年間の全国死亡者数は約108万人であるが、将来は170万人にもなると見込まれている。これから内科医不足がさらに深刻になると想定されるため、その確保策を検討する必要がある。
- ・公立病院がない地域などにおいては、保健所などの行政機関が、病院間の連携などに主体的にかかわってもらいたい。